



# 学校だより

No.2

5月号

令和3年4月30日

横浜市立洋光台第四小学校

～ 手をとるあい ぐんぐんのびる しんめの子 ～  
ホームページもご覧ください。www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai4

## 新芽のごとく、ぐんぐんのびる しんめの子

副校長 山口 高弘

桜の花の季節もあっという間に終わり、校庭の木々の緑も一段と濃くなる季節の到来です。本校の「しんめの子」は「新芽」を表しています。栄養を蓄え、日光を全身で浴びて色濃く伸びていく新芽のように、本校児童が大きく成長していくようにとの願いが込められています。

春の代表でもある桜と一口に言っても、その種類は約250種以上あると言われています。これらをほとんど集め揃えた公園があります。それは、北海道唯一の城下町松前城址の松前公園です。中でもソメイヨシノが日本全土を独占している観が否めません。それは、桜前線がこの品種を基本にしているからです。しかし、250余種の桜は、それぞれがそれぞれのよさ・美しさで咲いています。

法隆寺宮大工の西岡常一氏は、「癖のない素直な木は弱い。力も弱いし、耐久年数も短い。木の個性を見抜いて使う方が強いし長持ちする」と、言っております。個性は、木一本一本の「よさ」です。それら用いて組立てられるため、素晴らしい建築となるのでしょう。

かつて1968年に開催されたメキシコオリンピックで、サッカー銅メダル獲得の立役者となった釜本邦茂氏は「個性を殺すな。長所を伸ばせ。粒ぞろいでは世界に通用しない。」と、断言しております。今後の21世紀を担うのは、子どもたちです。一人ひとりが「よさ」を発揮し、生きることを願っています。そのためにも、学校と家庭、そして地域が連携して同じ価値観・同じ規範のもとに、子どもたちの「よさ」を更に伸ばしていくことが大切だと考えます。

現在咲く花の品種は、世界で20万種以上、国内で4000種を越えるといわれています。それぞれに、それぞれのよさがあります。また、世界の人口は、約78億人です。78億分の1の「よさ」を大いに発揮してもらいたいと思います。

子どもたちは友達や保護者の笑顔や称賛、愛情を”栄養”に、そして地域の方々の優しさを”水”に、教職員との関わりや学びを”日光”として、大きく成長していきます。